



89. 10. 31 発行

あちら本編運送先	今月通信担当
No129 細田英理子	奥村さと子
☎ 644-2927	811-1097

もくじ	
10月例会報告 --- 1.2	平井孝治の 阪原登講座 --- 6
例会参加記 --- 3	11月例会案内 --- 6
	左ニニストの本棚 --- 7
	情報 --- 8

「カラーパープル」

をみて

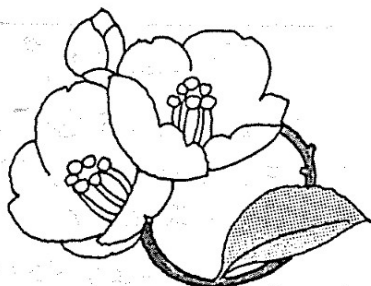
10月

報告

10月例会は映画「カラーパープル」をとりあげた。久しぶりの参加のKさんや、遠方(上石川)から参加のFさんもまじえて、夜の11時すぎまで話しあった。

この映画は黒人女性セリーの一生を描いた話で、黒人差別、女性差別について考えさせられる映画だ、結構重たいテーマだと思うが、さすがスピルバーグ、随所に笑いをあまらせ、最後まであきさせない。

主人公 セリーは義父に犯され、2人も子供を産む(その子供達はすぐどこかにやられてしまう)という暗い少女時代を送る。結婚してからは横暴な夫の暴力に耐えながら、ひたすら前妻の子供の世話や畑仕事を毎日、セックスの場面でもモノ扱い、何の喜びも感じずただ終るのを待っている。どんなひどい扱いを受けても、女とはこういうもの、



こういうふうに父や夫に仕えていく生き方がないとあきらめていた。しかし自由でまっすぐ、自分の人生をしっかりと生きている女性ネグに出会うことでセリーは少しづつ変わっていく。女は男より劣るし、自分は価値のない存在

だと思ひこんでいたのが、シャグを愛し、愛されることで変る。少し自分に自信が出てきて自己主張できるようになる。ついにシャグと家を出る。

この映画のメインはセリー、シャグ、夫の3人の物語だと思うが、それと並行して義理の息子ハーボとその妻ソフィアの物語も展開していく。ソ



フィアはセリーとは対照的な女、体格もよく元気のいい女で、押さえつけようする男達とは常に闘ってきた。ハーボはそういう元気のいいソフィアが好きだったはずなのに、従来の「男らしさ幻想」にまどわされ、結婚後は力で彼女を押さえこもうとする。父親がセリーを殴って従属させてきたように……しかし彼女は負けない。殴られたら倍殴り返す。そんなことが続き彼女の方が彼に愛想をつかして出ていく。

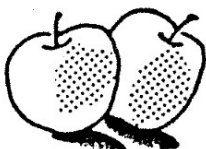
そうやって強くたくましく生きてきたソフィアだが、白人の男にも同じ態度をとった(殴り返した)ため、リンチをうけ刑務所に入れられてしまう。

セリー、ソフィアの身の上には〈女、黒人〉それぞれの差別が象徴されていると思う。



映画をみたあとの話し合いでは①映画は涙あり笑いありの波乱万丈の一代記という感じでなかなかおもしろい。原作で重要だったシャグとの同性愛の部分かぼかされているのは残念だ。

②シャグの「神は白人であり、男だった、それは違う。神は私達の中にいる」という言葉が印象的。③この映画上映の際、黒人団体から一部抗議が出たと聞く、黒人社会の中の取柄、女性差別を描いているので、人種差別の問題をあまりに示してしまう危険性があるという理由である。これはおかし、よく組合の中で女性差別の問題をとりあげようとする時、「大事の前の小事」という言い方をされる。それと同じだ。等々の意見が出た。特に③については賛同意見が多く、結局、他の差別も女性差別もどちらも大事で、どちらか上でどちらか下ということはない。両方闘っていくべきだという意見になった。また



映画だけではわからない所もあるので是非原作を読もうという事になった。

- 2 - (細田記)

お願い!

通信に対する感想、御意見を寄せ下さい。

原稿も募集中!

とんとんあたより下さい。

例会参加記



「カラ-パ-ポル」を観て

最初に本を読み、すぐその後映画を見た。

今回の例会での観賞は2回目なので以前よく理解できなかった、いくつかの場面などで(あ-ナルド)と思う二もあった。

全体的な印象としてセリーの一生を描くには映画はあまりにも短かすぎ散漫になってしまい、映画だけではセリーの人生の流しも心情も理解できないのではないかと思った。特に本ではセリーとマダムの同性愛を表現している文体がとても美しく女同志の愛の優しさは深く大変感動したが映画ではほとんどふりかたらず、物語のメインとなる部分だけに残念な気がした。しかし「映画」として見ると、あらゆる層に受けやすい盛り上がりもあって映像も美しく起承転結ははっきりしており、さすが人気絶調のステルバークの作品だナ-と思ったが「映画」としての見えたえはあるものの本とは全く違った作品と考えた方が良く思う。

この作品から私が一番に受けた感動は、女同志が手をつないで、しかも男社会に挑戦していくときの各々の女がとても優しく暖かくて美しいという点だった。映画ではそこがポイントではなかった。

もし、この映画を女が撮っていたものだったらどんなシーンが作れただろうと終始考えながら映画をみると私はいつもこのことを考える。

加我 博子

雑草の中のフスマのように!

ひとりの女の生き方を観る。日本よりもっと封建的な世界で生きている彼女が、自分を偽らない生き方を押しつけていく。脅され叩かれても自分ひとりで飛ぶようにと努力している。まるで今の自分を見て

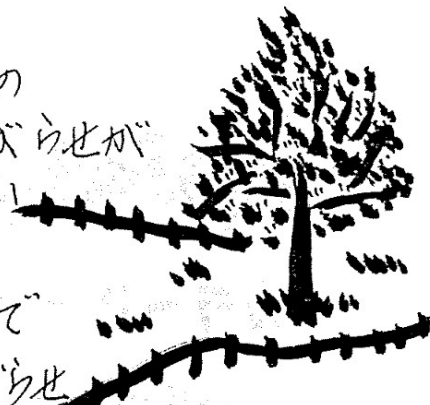


いるようだ。多額のPR費用に反対しての大手の
K塾の組織との対立。それに対するいやがらせが
だんだんとエスカレートしてきた。講習に出ない
でほしい。全国大会での表彰は取り消す。

注文した品物はなかなか届かない。生徒にまで
迷惑がかかってきている。しかし、どんないやがらせ
も、私は負けないつもりでいる。自分を守るのは自分しかいない。
自分の判断で自分の生き方を決めていく映画の中の彼女に魅せ
られ、私もそうありたいと思う。

女同志の愛に救われ、男の支配を裁ち切る生活を目差した。
ユースモスの笑く中での姉妹愛の場面が、いつまでも脳裏に焼き
入っている。

おぎの きょうこ



'89北海道女性サミット

10/27 サマソウサ¹にて
に行ってきました。谷百合

えー「北海道女性自立フォーラム」だって?! そんな、自立なんて人にスヌメ
られてするもんじゃな。まして、お上のナリモノ入りで、高層なホテルで。
(かも働いてる女はほとんど出られない。日昼に! と思ひたら、「た
から、そ一般のサマ参加すべきなのよ」とあざのYさんが... さっさと申し込
んだ。行くと、みんなバシツとスーツにヒール。押し出しの強弱な中高年の
婦人(ご免)がズラリ。「あーいやなと、きちまったー」とひるんが... それ
で隅隅に座った。私の令科会は「家庭」。ますますカシケないと思
っていたのだが... ところか、期待以上に面白かったのです。

司会の川島利子さんの「意見は違うほど面白... ですから、どんどん出
て下さい」というに、やっぱ笑顔に気持ちやわらいて、スナズリ
トークに入っていった。

最前部のシンポジストは 谷春美 さん。「女性学」研究者、家族社会
学専門。ほとんど用詞一番に「性別役割分担」とやめて... こうと

言う話になった。これは面白いと思ってるからひきこまれていく。妻(女)外へ働き出すと家族として解決していく傾向は限られる。従来は家庭内(?)のことはセパレートした。夫、父親が家族に目をつけている。同志になってもらう。これが基本である。しかし、日本は性別役割分担が依然として根強い。分担は危険を伴っている。いったんコトが起るとマスキングはこぼれて毒味非難する。社会から女は非難される。これからは夫とどう分担し、協力していくか。目安になるという話であった。このためには男性の家庭生活での自立が課題となる。

男が自ら家庭に入ってくることは期待できない。(女の)方が早いから。家庭内のことは女の先輩だから男に教えていく。わたしの登壇は男をぬれ落すことのために。男がひきこまれて困るようになる。この後の父子と母の父母会に男が年休を取って行ってもらう。男性の自立という点でのネットワークづくり(ような)話など、実体験と研究者としての理論の展開がかなりやすく。又、伺ったと思った。



成田 教子さんは弁護士。最近では道庁での女の転勤がめざし、色々と強振がなされている。結婚にあせらなくなってきた。男はどうかという。結婚で楽になる。女は負担がふえるケースが多い。旧態依然とした形が残っている。今、定年前の見事な離婚がふえている。男は許されず何のことも判らぬ。こぼれが多い。これは性別役割分担に關する話。男女の差が余りに大きいという点ではないか。とにかく男が変わっていかないと家庭は破壊する。家庭教育の中で人間は変わる。茶わん蒸しは女という固定観念は家庭の中からは変えていく。など、胸のすくようなお話でした。

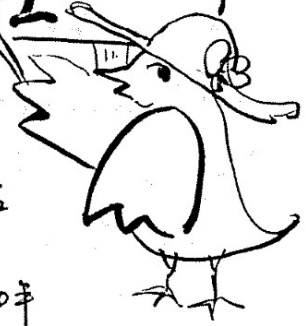
藤谷 榮谷さんは元NHKアナウンサー。今回は数少ない男性の存在で汗をぬぐうから(?)のお話。家庭内の話し合いが大切と強調。

(しかし、男は強く、女はやさしくという神話からまが脱生してこないこだわり派。このあと会場とのやりとりが元氣なやりとりが交された。

平井孝治の脱原発講座



11/28 (火) 札幌市民会館 第1会議室
PM. 6時開場
6:30分開校



70071-11
九州大学工学部 助手



九電意見様主運動2010年

しっかり理論武装して行動しよう!

この脱原発は下火。などと北電の社長が言った。10月18日のテレビは200人と報じられたけど一般市民は20人程。慢延のはいよ危くおぼたしこの辺で どういう力を出しあおう!

原発にも何でも聞け!!

11/27 土川

11/28 PM11:00 石狩市民会
PM6:30 札幌

11/29 共和みどり会

問:あかせ先 664-0632

谷 22



11月例会案内

曾野綾子と叱る!!

上野千鶴子 VS 曾野綾子とマスコミカ
はやしにてた 論争(?) この真相はどうなっているのか。二人の論点はかみ合っているのかどうか。

くいついているとすれば どうなっているのか。

世間には「リブぎらい」はたくさんいるけれど。その人たちとの接点はどうしたらいいのか。などなど

11月13日 6:30分
(月)

婦人文化センター 第4和室
大通西19丁目

1ホ-ター 谷 21

72匹=ズ4のニと
わかったふりして
批判しないでニヤン



女のせりふ

伊藤雅子

未来社 1648円

フェミニストの本棚

☆出会いにはいつもドラマがあります。この本との出会いも・・・

このところ忙しさにかまけ、仕事に必要な本の必要な箇所だけに眼を通す日々のくらしでした。久しぶり、ほんとうに久しぶりに立った本屋さんの女性問題コーナー。そこでまるで「私を手にしてみて」と語りかけられたかのように、ふと手にしたのがこの本です。

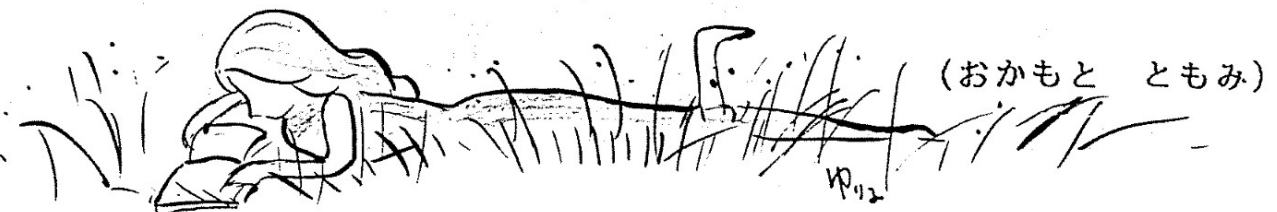
☆もともと伊藤雅子さんの文章は、まとまって読んだことこそないけれど好きでした。声高ではない、心の底までやわらかく響く低音の口調と、ことばのひとつひとつを大切に扱う（それは、そのことばから導き出される関係性や暮らしのありようひとつひとつを揺るがせにしない、ということです）話し方が好きで。そう、彼女の書くものは「口調」「話し方」といってしまいたいくらい、肉声なのです。



☆半分くらいは、見開き2ページに短くまとめられた文章、その他もせいぜい4ページくらいの文章をまとめた本なので、すぐに読めるし、難解な表現もありません。でも、なかみはずっしりと重い。ひとつひとつを読みながらいつの間にか自分の暮らしを振り返り、衿を正されているのに気づきます。

☆話はとびますが、つい最近、わたしが勤める病院の医局でモーニング・レクチャーというのを始めました。名前は仰々しいけれど、朝会（診療開始前に前日の当直医からの連絡や今日の行事などの打ち合せをする会）で「5分間自分の好きなテーマで話をする。質疑応答は原則としてなし。」というだけのものです。第1回目の「量子力学」から「瞬性脳症」「ターミナル・ケアにおける告知の問題」はたまた「青木秘書の自殺について」までバラエティに富んだ内容です。

こんど わたしの担当のときに、この本の「いい待たせ方をする人ねえ」「いい働き方」をコピーして読もうかな、と考えています。



Information

ODA (政府開発援助)
こんなもの知らない!?

＝村井吉敬講演会＝

日時: 11月18日(土)

午後1:00 開場

午後1:30 開演

場所: 札幌市社会福祉総合
センター 4階 大研修室
(大通西19)

参加費: 500円

主催: ネグロスキャンペーン北海道

〒060 札幌市中央区北1西9
北海道ビジネスビル4階

TEL: (011) 272-0034

帰国した
フィリピン出稼ぎ女性
との出会い

～ 清水知恵エンの

「女性のためのボディセンター」報告

日時: 11月7日(火)

19:00～

場所: バネデイトハウス
(札幌市中央区北1東6)

参加料: 300円

SPR - 在日外国人の人権を
守る会・北海道

(問合せ先: (011) 511-5643
牧下)

11/14(火)～12/13(水)

「アイヌ文様刺繍講座作品展」

りんごの木

「脱原発フリーク」

11月16日(木)

清水品子
(857-9640)

19:00～

りんごの木

りんごの木のTEL: 704-5447
ナバー

あとがき

カラパールの話をしていた時
ある出来事を思い出した。

ある時夫が、悪い宿客が、男の権威
を言試すようなやり方で、私の頭を叩いた
ことがある。

すかさず 私は追いかけて、飛びかき
をし、ぶり向いたところを張り倒した!

その後どうれような様子をしている
相手の かおをみて「コイツは一生
かたしについてくるだろう」と思
ってゾッとしました。

コレ 犬も喰わない話 (5)